

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		くろかみ学園児童デイサービス事業所				公表日	令和 7年 3月12日
		チェック項目			工夫している点	課題や改善すべき点	
			はい	いいえ			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	・人数が多い時は活動を分けています。 ・限られたスペースの中に収納してなるべく子どもたちが過ごせるスペースを狭くしないように工夫しています。 ・活動を分けて、カームダウン室や会議室を使用するなどの工夫をしています。	・利用定員は適切ではありませんが、学年の高い子が揃うと狭いです。子どもたちも狭さを感じて、隅の方に集まって過ごし、動きの多い利用者様に広いスペースを譲る姿をよく目にするようになりました。 ・個室をうまく活用している。ただ全体的な部屋数が少なく、個別での対応が必要な時に困る場面はある。 ●活動の場を分けるなど、空間を上手に工夫して活動が提供できるようにします。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	・利用者数が少なくても部屋からの飛び出しがある方がいる時は、家族迎えの対応をする職員が2人残ることが出来るようにしています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1		・トイレが遠く廊下が暗いなど、子供達にはあまり適していないと思います。 ・部屋の中には配慮をしていますが、部屋の外は階段やトイレが離れた場所にあることでこれ以上の構造化は難しい。 ●支所の構造上、お子様に分かり難い空間ではありますが、お子様が安全に安心して利用できるよう配慮します。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	・今年は、教室とブレイルームを分けて、刺激になるものを隠すなど、利用者さんが落ち着ける空間作りに努めています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	・個別ブースやカームダウン室は、幾つか用意しているので、いつでも提供できています。 ・カームダウン室が限られているため、利用者様に合わせて教室の方の個室は机を配置したりマットを敷いたりしています。	・あるが少ない。 ●カームダウン室は2部屋あります。日によっては利用希望者が多いこともありますが、パーテーションなどを使って空間を仕切り落着いて過ごせる環境を設定します。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・職員間での情報共有を行っています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・引き継ぎや、デイ会議で話し合い改善につなげています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3	・今年度末、実施予定。	●今年度より、サービス評価会議に第三者の外部の方に入ってもらっています。第三者の方のご意見や助言を参考に、業務改善に繋がります。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0		・中には、保護者のニーズがそのまま反映されており、特定した目標になっているものもある為そういう時は保護者さんと再度話をする必要があるかと思っています。 ●利用者様の意向や発達の状態、保護者様のニーズを総合的に判断して放課後等デイサービス計画が作成できるよう配慮します。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	・計画に沿って全職員取り組んでおられます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	・全職員が出動した時にチームで話し合いを行ってます。 ・なるべくデイ会議の日に活動について話す時間を設けるようにしています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	・過去の計画などを振り返りながら活動を決定しています。 ・月間スケジュールに活動が決まった時点で書き込み、活動が被らないようにしています。 ・月案で活動の固定化をしないようにしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	・ミスがないよう引き継ぎ、情報共有を行っています。 ・朝や支援前に前日の引き継ぎや学校からの引き継ぎなどその都度話すようにしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	・次の支援に活かしています。 ・その日起きたことや保護者様からの話など引き継ぐようにしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	・年に2回行っています。	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0			
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0			
関係機関や保護者	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	・訪問や支援会議等に参加しています。 ・必要に応じて。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	・送迎時に学校での様子を伺い、必要がある場合は訪問を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	2	・必要に応じて情報提供の要望があった時は行っています。 ・必要に応じて。 ・話があればしているが、こちらからはしていないと思う。	●就業先への情報提供などは、保護者様や事業所から申し出があればいつでも応じます。
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2	・センターとの連携は行なっている。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
との連携	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	5		●放課後児童クラブのお子様などと交流する機会は設定していませんが、外出先（公園など）では同じ遊具で遊ぶなどの機会はあります。 新たな取り組みを実施することで、本来実施すべきサービスに支障が出ることも考えられる為、導入については慎重に検討します。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	3		●地域の子ども支援部会に参加するように努めています。
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0		
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0		
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	5		●毎年3月に活動報告会を予定し、保護者様の交流の場にしたいと思っておりますが、参加者が少ないため交流が出来ていないのが現状です。保護者様の参加が増えるような取り組みを検討し、保護者様への情報提供を積極的に行います。 きょうだい同士の交流の機会など新たな取り組みを実施することで、本来実施すべきサービスに支障が出ることも考えられる為、導入については慎重に検討致します。
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0		
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5		●事業所に地域住民の方を紹介することはありませんが、地域資源を使った活動を通して、地域の方とふれ合う機会を提供しています。
	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
非常時等の対応	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	・リスクマネジメント委員会を開催しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0		